**IRCCSフォーラム入会申込書**

（法人無料会員用）

IRCCSフォーラムの趣旨（別紙）に賛同し、入会を申し込みます。

申込日：　　　　　年　　　月　　　日

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 法人名 |  | |
| 部署名 |  | |
| 会費 | 無料 | |
| 窓口（事務） 担当者 連絡先 | 氏名 |  |
| 所属 |  |
| 役職 |  |
| 所在地 | 〒 |
| Tel |  |
| FAX |  |
| e-mail |  |
| その他連絡事項 |  | |

頂いた個人情報は、本フォーラム活動に関してのみ使用し、それ以外の目的には使用いたしません。

【備考】

1．　この入会申込書をMailまたは郵送にて下記の申込書送付先へお送りください。

2．　頂いた入会申込書を会員原簿として保存いたします。

3. 一社一部署あたり、お一人様を代表としてお申し込みをお願いします。

4. 本申込書は異なる部署でコピーしてお使いいただいても構いません。

**【申込書送付先・お問合せ先】**

IRCCSフォーラム事務局 （担当者：木原）  
 https://irccs.nagoya-u.ac.jp/

TEL： 052-789-5907

FAX： 052-789-5900

e-mail： kihara@os.rcms.nagoya-u.ac.jp

所在地： 〒464-8602　名古屋市千種区不老町

名古屋大学　野依記念物質科学研究館1F

IRCCSフォーラム設立の趣旨と目的

日本の物質科学産業界を取り巻く環境は国際社会・グローバル社会の中で激動の時代に入っています。既存産業への大きな依存だけでは世界で太刀打ちできない局面を感じます。世界を先導する、新しい物質科学を基軸とする技術革新の創出の必要性はもはや疑う余地はありません。「次代を大きく切り拓く物質科学産業や物質科学技術とはなにか。そしてそのために必要な学術や科学とは何か」「日本の物質科学産業の進むべき方向性を見出す先導的なテーマとは何か」について、産学官を問わず膝を交えて真剣に議論すべき時期を迎えているのではないでしょうか。

そのようななか、IRCCSフォーラムは、IRCCSと産業界等との双方コミュニケーションを促進し、社会連携体制の基盤強化を図るとともに、IRCCSの研究成果の情報発信や実用化等を通じて産業の活性化に大きく寄与することを目的とします。

IRCCSフォーラム会員に提供できる可能性がある今後のサービスや機会

1. ４大学間で実施される学際共創フロンティア（重点研究分野・課題※）研究で得られた

公知前の成果データなど最新情報を得るための機会

1. ４大学（約120名が参画）各々で推進される個別研究の成果情報を迅速に得るための機会
2. IRCCS主催イベントに参加し、４大学と企業間にまたがる人的交流を得る機会
3. 今の自社にはないが求めている研究に関わる大学教員と直接面談を行う機会のアレンジ
4. 自社の研究紹介を通じて大学教員から助言等を得るなど初期マッチングをはかる機会
5. 自社が求める若手人材とのIRCCS主催イベントでの発表等を通して接する機会
6. 自社の若手研究者が新たな分野を知り、新たな学びを得る機会（リスキル・リカレント）

※IRCCS共創フロンティアにおける重点研究分野・課題

(1) 持続可能性社会の実現に向けた分子変換技術の創出

(2) 原子配列や反応空間の制御による高活性・高機能触媒系の創出

(3) 反応空間の観察とシミュレーションによる物質変換機構の解明

(4) 分子・材料の高度機能発現を指向した精密設計と合成

(5) 励起状態空間の制御による機能性分子・高分子系の創出

(6) 特異ナノ構造・空間の制御・活用による機能創出

(7) 新規なバイオ機能・分析の実現を指向した分子設計と応用

IRCCSの活動とIRCCSフォーラム会員（無料会員）の特典

一　成果報告会（年１回）や国際シンポジウム（２年に１回）、セミナー等への対面参加

ならびにオンライン配信による研究成果情報の視聴

二　産学ワークショップへの対面参加と４大学教員や会員企業との情報共有

三　若手共創ワークショップへの対面参加

四　その他IRCCSと会員との連携及び交流を促進するための活動への参加